

## 第1学年国語科学習指導案

**単元名** 文章に図表を組み合わせて「『私』の説明文」を読みやすくして印象的なものに仕上げよう

**教材** 図表を使って伝えよう－「私」の説明文（東京書籍「新しい国語1」）

### 1 単元について

佐賀県の中学生の実態として、平成24年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「書くこと」に課題があることが分かった。特に「相手や目的に応じて、分かりやすく書くこと」に課題が多く、正答率が低かった。

本単元は、中学校に入学して2回目の「書くこと」の単元である。1回目は入学した頃の体験や身近に見かけるものを題材に、自由な発想で4行程程度の詩を創作し、反復や比喻などのさまざまな表現の工夫を取り入れて小さな発見を生き生きと伝える詩に仕上げる言語活動を通して、比較的自由的な発想で既習事項を生かして表現し、交流して自分の表現の参考にすることを指導した。これを受けて、本単元では、伝える内容を考えて、書くための材料を集めるとともに、材料を分類・整理し、図表を使ってまとめたり、段落の役割をを考えて文章を構成したりしながら、読みやすくして印象的な説明文を書くことを言語活動として取り入れた。

説明する文章を書く際には、相手や目的に応じて伝えたい事実や事柄を的確に記述することが求められる。そのため、伝えたい情報を選んで説明の順序を考えたり、ふさわしい語句や表現を用いたりすることが大切である。「『私』の説明文」では、文章を分かりやすいものにするために図表を用い、効果的な図表の使い方についても指導することとする。

指導に当たり、「はじめの一步」を通して図表を効果的に使う学習を行わせる。説明や記録の文章には図表が使われることが多い。説明する内容に応じた適切な図表を用いることで、分かりやすくなることを理解させた上で、自分の文章にどのような図表を組み合わせたら分かりやすい説明文になるのかを考えさせる。次に、文章の構成について考えさせるために、教科書の完成作品例を使って、全体的なことを述べる段落、1つ1つの材料を詳しく述べる段落など、段落の役割について説明をする。そして、自分の集めた材料について、どのような順番に並べて書くかを考えて下書きをさせる。最後に、できあがった下書きをグループ内で読み合い、推敲して「『私』の説明文」を読みやすくして印象的なものに仕上げることを指導することにする。

### 2 単元の目標

- (1) 図表を用いた説明の効果などを考え、読みやすくして印象的な説明文を書こうとする。
- (2) 伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、分かりやすい段落構成や図表を考えて説明文を書くことができる。
- (3) 書いた説明文を読み返し、文章と図表との対応や、図表が文章の助けになっているかを確認し、読みやすくして印象的な説明文にすることができる。

### 3 単元の言語活動

文章に図表を組み合わせて「『私』の説明文」を書く。

4 単元の評価規準 ( )内は該当する指導事項等の記号

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
①図表を用いた説明の効果などを考え、読みやすくて印象的な文章を書こうとしている。	①伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ) ②書いた文章を読み返し、文章と図表とが対応しているか、図表が文章の助けとなっているかなどを確かめ、読みやすくて印象的な文章にしている。(エ)	①図表を説明するときに、指示語や接続語を工夫して使っている。(イ(エ)) ②学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))

5 指導と評価の計画(全5時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 教科書の文章や記事を図表にまとめて、図表の形式や効果的な図表の表し方について話し合う。  2 学習課題「文章に図表を組み合わせて、『私』の説明文」を読みやすくて印象的なものに仕上げよう」を設定する。	○伝えたい内容に合った形式の図表を選び、その理由について明確に説明させる。 ○説明の文章を展開する上で、図表が果たしている役割や効果について、明確に説明させ、自分の言語能力について自覚させるとともに課題意識をもたせる。  ○学習計画表を基に、学習の課題や学習の流れを理解させ、見通しをもたせる。	[国語への関心・意欲・態度] ① ワークシート①②, 観察
二	2	3 自分について説明するための材料を集めて分類し、書く材料を選び出す。	○自分について説明するための材料を、時間内にできるだけ多く書き出させ、その中から目的や意図に応じて選択させるようにする。 ・目的=自分らしさを表すた	[書く能力] ① ワークシート③, 付箋

			め ・意図＝図表を使って分かりやすく印象的に伝える	
3	4	材料を基に図表をまとめるとともに、構成を考えて説明文の下書きをする。	○全体的なことを述べる段落，1つ1つの材料について詳しく述べる段落など，段落の役割を意識して，どのような順番に並べて書くかを考えさせる。  ○文章と図表の効果的な組合せについて考えながら，下書きをさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔国語への関心・意欲・態度〕① ワークシート④，観察</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔言語についての知識・理解・技能〕①② 『私』の説明文の下書き(ワークシート④)</p> </div>
4	5	グループ内で下書きを読み合い，もっと分かりやすい説明文になるように，気付いたことを，付箋を用いて伝え合う。	○「読み合うときの観点」を基に下書きを読ませ，よいところを青の付箋に，アドバイスをピンクの付箋に書いてそれぞれの作品に貼らせる。	
	6	付箋に書かれていることを基に，自分の下書きを見直し，推敲して改善の方向性について考える。	○付箋を観点ごとに整理して貼らせ，自分の下書きの改善点を明らかにさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔書く能力〕② 『私』の説明文の下書き(ワークシート④)，振り返りシート，</p> </div>
三	5	7 説明文を清書し，学級内で読み合い，感想を交換する。	○叙述を引用して感想を述べさせ，作品のよいところを自分の表現に生かすように促す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔書く能力〕①② 『私』の説明文の下書きと清書(ワークシート④⑤)，振り返りシート</p> </div>
	8	単元の学習を振り返る。	○学んだことを振り返らせ，身に付けた力と今後の学習や生活に生かすことのできる場面を予想させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔言語についての知識・理解・技能〕①② 『私』の説明文の清書(ワークシート⑤)</p> </div>

6-1 1/5時の指導計画

(1) 目 標

目的に応じて図表を効果的に使って書こうとする。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	<p>1 指導者の自己紹介を聞き、図表を見合わせながら聞く場合と、文章だけのものを読みながら聞く場合との違いを実感する。</p> <p>2 教科書の「図表を使って伝えよう」を読み、単元の目標を確かめる。</p> <p>3 本時の目標を確かめる。</p>	<p>指導者の作品モデル</p> <p>学習計画表</p>	<p>◆まず、電子黒板を用いて図表を提示しながら自己紹介をする。次に、文章だけを示して同じ内容の自己紹介をし、図表を使うことで内容が分かりやすく印象的なものになることを実感させる。</p> <p>○斉読によって確認させる。</p>	
<p>目的に応じて図表を効果的に使おう。</p>				
展 開	<p>4 教科書の「はじめの一步！」にある(1)「ある中学校のバスケットボール部の部長が、新入生向けに書いた文章」を読み、この文章に合わせる図表(2)を作成する。</p> <p>5 (2)の表の他に、図表にどのような形式のものがあるか話し合う。 〔手順〕 1) 既習事項を生かして思いつく図表を発表する。</p>	<p>ワークシート①</p>	<p>○文章だけでは分かりにくい情報を、表にまとめて分かりやすくする作業であることを意識させる。</p> <p>◆教材提示装置を用いて生徒が作成した(2)の表を映し出し、作成した図表が正しいかどうかを確かめさせる。また、分かりやすい情報となったことを実感させる。</p> <p>○社会科や数学科、理科などの学習内容を想起させる。</p>	<p>◇(2)の表の作成に時間の掛かっている生徒には、(1)の文章に(2)の表に書き込む言葉をマーキングさせ、矢印でつなげるなどして何をどこに書くかを確かめて書かせる。</p>

展 開	<p>2) ワークシート②で図表の特徴を確かめる。</p> <p>3) どのような場合にどの図表が用いられるのかを確かめる。</p> <p>6 教科書の【練習】に取り組み、時間の経過に従って数値の変化する様子を知りたいときには折れ線グラフや棒グラフが適切であることを確かめる。</p> <p>7 いくつかの場面についての形式の図表を使うのがよいかを答える練習問題に取り組み、答えを確かめる。</p> <p>《ワークシート②の練習問題に取り上げた場面》</p> <p>① クラスごとの図書の本の貸し出し冊数を比較したいとき</p> <p>② 貸し出し冊数の多い図書の順位を知りたいとき</p> <p>③ ある年の日本の輸出品目の割合を知りたいとき</p> <p>④ テストの成績の変化を知りたいとき</p> <p>⑤ 人物の性格をいくつかの観点から分析するとき</p> <p>⑥ 人口の年代構成の割合の違いを知りたいとき</p> <p>8 学習課題「文章に図表を組み合わせて、『私』の説明文」を読みやすくして印象的なものに仕上げよう」を設定する。</p>	<p>ワークシート②</p> <p>ワークシート①</p> <p>ワークシート②</p>	<p>○情報の内容や書き手の目的に応じて図表やグラフが使い分けられていることを理解させる。</p> <p>◆答えを確かめさせる際には、電子黒板でエクセルシートを用いて生徒の解答したグラフを作成して見せ、どのグラフが適切か確かめさせる。</p> <p>○どのような場合にどのような形式の図表を使えばよいか、判断の理由を説明させて答えを出し合わせる。</p> <p>○言語活動を通して身に付く力を予想させ、「単元で身に付けたい力」に書き込ませる。</p>	<p>◇グラフを書くのに手間取っている生徒には、縦軸と横軸に何を取って書くのかを確かめさせて一緒に作成する。</p> <p><b>【関①】</b> 図表を用いた説明の効果などを考え、読みやすくして印象的な文章を書こうとしている。 <b>【ワークシート①】【ワークシート②】【観察】</b></p> <p>練習問題に取り組み、答えを確かめることを通して、図表の特徴をつかみ、目的に応じた図表を選ぼうとしている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>グループで分からないことを質問したり、説明したりさせて、目的に応じた図表について理解させる。</p>
	まとめ	<p>9 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p>	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</p> <p>○次時は、自分についての材料を集めることを確認する。</p>

6-2 2/5時の指導計画

(1) 目 標

自分について説明するための材料を集めて分類し、大体の構成を考慮することができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 「Cの状況の生徒への手立て」
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に設定した学習課題 を一斉に読み上げさせ、 2～3名の生徒に前時の 「学んだこと・感想・次 時の目標」の欄に書いた ことを発表させる。 ○本時の目標を斉読によっ て確認させる。	
自分について説明するための材料を集めて分類し、大体の構成を考えよう。				
展 開	2 取材と材料の整理につい て既習事項を想起し、これ までに取り組んだ学習活動 を発表し合う。  3 本単元の取材対象が自分 であり、材料を探し出すと きの観点が「自分の特徴が 分かる事柄」や「紹介した いと思うこと」であること を確かめる。  4 教科書の「思いつくこと を書き出した例」(P73下) と「材料を整理した例」(P74 下)を見比べて、たくさんの 材料の共通点をまとめる整 理の仕方を確かめる。	ワークシ ート③	○他者を説明(紹介)する際 にはインタビューやイン ターネット・図書資料等 の活用で情報を収集した ことを想起させる。 ○集めた情報について取捨 選択して書く材料を決め たことを想起させる。 ○教科書P271からP277の 資料編を参考にさせる。 ◆電子黒板に教科書P73上 を映し出し、「自分の特徴 が分かる事柄」と「紹介 したいと思うこと」とい う言葉に線を引くのを見 せ、それぞれの教科書に マーキングさせる。 ◆指導者の作品モデル作成 のための付箋と整理シー ト(ワークシート③)を教 材提示装置で映し出し、 実際に付箋を動かしながら 材料を整理する様子を見 せる。	◇既習事項が思い浮かばな い生徒には、教科書P271 「情報の調べ方・使い方」 を参照させ、発言を促す。

5 普段の生活を振り返ってみて、「自分の特徴が分かる事柄」や、「紹介したいと思う事柄」を思いつくままに付箋に書き出す。

[手順]

- 1) 5分間で自分のことを振り返って付箋に書き出す。
- 2) 書いたものを発表し合い、アイデアを得る。
- 3) 更に5分間で、自分のことを振り返って付箋に書き出す。

6 書き出した付箋を整理して、材料を絞り込む。

[手順]

- 1) 共通点ごとにまとまるよう付箋の位置を変える。
- 2) 共通点ごとに付箋を枠囲みして、枠囲みの見出しとして共通点を書く。
- 3) 「自分らしさを表すため」という目的に最も適当だと考えられる材料で、図表を用いて分かりやすく説明できそうな材料を選ぶ。

付箋

○制限した時間の中で、できるだけ多くの材料を書き出させるようにする。

○教科書P222の「基礎編 [整理する力]分類する」を参考に促す。

◆電子黒板にタイマーを映し出して時間の経過が分かるようにしておく。

○1人1つずつ重複しないものを発言させ、斬新なアイデアを出したり、たくさんの材料を集めたりすることができた生徒を評価し、意欲を喚起する。

○目的や意図に応じて選択させるようにする。

《板書例》

- ・目的=自分らしさを表すため
- ・意図=図表を使って分かりやすく印象的に伝える。

◇付箋に書くのが滞っている生徒には、教科書P222の資料「分類する」を使って、実際に材料として書き出した例を示す。

【書①】伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、段落の役割を考えて文章を構成している。【ワークシート③】

【付箋】

付箋に書いた材料を貼る位置を変えながら観点ごとにまとめ、枠囲みをしたり、観点を記入したりして、「『私』の説明文」の大体の構成を考えている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

生徒の学校生活から推測できることをいくつか提示して、「自分らしさを表す」ものを選びせ、どのような図表を使うかを見通させる。

まとめ	<p>7 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</li> <li>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</li> <li>○次時は、図表を組み合わせ、「『私』の説明文」の下書きをすることを確かめる。</li> </ul>	
-----	---	--------------	--	--



6-3 3/5時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 目的に応じて効果的な図表を書くとともに、段落の構成を考え、文章を書こうとする。
- ・ 指示語や接続語を適切に使って図表を説明することができる。
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書くことができる。

(2) 展 開 ※ 本時における評価は、観察と授業終了後に回収したワークシート④によって行う。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に学んだことを2～ 3名に発表させる。 ○本時の目標を斉読のよっ て確認させる。	
	ポイントを押さえて、材料を基に図表をまとめるとともに、構成を考え、文章の下書きをしよう。			
展 開	2 『私』の説明文」完成作 品例を読み、本時の目標と 照らし合わせる。 〔手順〕 1) どのような材料を基 に円グラフにまとめた のかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     ・やる気, 期待, 不安, 根気の各要素が私 の「成分」であり, 私の心を占める感 情や考えのキーワ ードであることに 気付く。 ・割合を示すために円 グラフを使ったこと を確かめる。                 </div> 2) 文章と円グラフに共 通して使われている語 句を手掛かりにして, 図表と文章との関係を 考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     ・文章には要素名が書 かれているが、それ の占める割合は書 かれていない。                 </div>	ワークシ ート②	◆教科書P77を電子黒板に 映し出し、マーキングす る語句の確認をしながら 学習を進めさせる。 ○円グラフのそれぞれの要 素に色分けしてマーキン グさせ、自分の心を占め る感情や性質を材料にし て割合で示していること を確認する。 ○割合を示すには、円グラ フが適切であることをワ ークシート②と照らし合 わせて確かめさせる。  ○説明文「私の『成分』」を 読ませ、円グラフにある 言葉と同じ言葉に同じ色 でマーキングさせる。 ○円グラフの要素の多い順 に説明していることを確 かめさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【関①】図表を用いた説 明の効果などを考え、読 みやすく印象的な文章 を書こうとしている。 【ワークシート④】 【観察】                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     具体的なポイントを参照 しながら『私』の説明文」 の下書きをしている状況 を「おおむね満足できる」 状況（B）と判断する。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ワークシート③で収集・ 整理した材料を基にし て、ポイントごとに参考 資料を示し、一緒に適切 な図表を選んだり、分か りやすい構成を選んだり して下書きを書かせる。                 </div>

3) 文章の構成の仕方を考える。

- ・初めに対応する結びを省略している。
- ・要素の説明が起承転結の構成で書かれている。

4) 段落の書き出しに注目して、改行し1字下げて書くことと順序を表す語句や指し示す語句を使うことを確かめる。

5) 本時の目標から具体的なポイントを考えて発表し合う。

- 適切な形式の図表
- 段落の役割の明確な構成
- 順序を表す言葉や指し示す言葉
- 図表と文章の関連
- 適切な表記

3 本時の目標から考えた具体的なポイントを押さえて、『私』の説明文の下書きをする。

4 書いた下書きを読み返し、ポイントが押さえられているか確かめる。

学習の手引き「読むこと」⑤「構成に強くなるう！」  
学習プリント①「指示語」、②「接続語」

ワークシート②  
ワークシート③  
ワークシート④

○学習の手引き「読むこと」⑤「構成に強くなるう！」の「説明的な文章の構成」を参照させ、例文が結びを省略する形となっていることに気付かせる。

◆電子黒板に映し出した例文を指し示しながら確認をさせる。

《板書例》

①材料を基に図表にまとめる。  
伝えたい内容に合った形式を選ぶ。  
 →ワークシート②  
 ※図表の書き方に従って書く。→他教科

②段落構成を考えて下書きをする。  
段落の役割を意識して書く。  
 →学習の手引き⑤  
順序を表す言葉や指し示す語句を使う。  
図表と文章を関連させて書く。  
 ・図表を見る順番に書く。  
 ・中心に見せるところを決めて詳しく書いたり、簡単にまとめて書いたりする。  
漢字で書くべき語句は漢字で書く。

○分からない漢字については、辞書を活用して確かめて書くように促す。

○書き分けの難しい同音異義語や同訓異字など、間違いの多い表記については黒板に書き出し、注意を促す。

【言①】図表を説明するときに、指示語や接続語を工夫して使っている。  
 【言②】学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。  
 【ワークシート④】

【言①】図表を指し示す言葉や、図表を見る順番を示す言葉を適切に用いて、『私』の説明文の下書きをしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

【言②】学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って、『私』の説明文の下書きをしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

指示語や接続語については、使うべき箇所を指摘して、いくつかの例から適切なものを選ばせる。漢字で表記すべき語句についても指摘して書き直しをさせる。

まとめ	5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</li> <li>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</li> <li>○次時は、グループで推敲をすることを確かめる。</li> </ul>	
-----	--	-------	---	--

6-4 4/5時の指導計画

(1) 目 標

下書きを読み合い、文章と図表とが対応しているか、図表が文書の助けとなっているかなどを確かめ、読みやすく印象的な文章にすることができる。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画表	○前時に学んだことを2～3名に発表させる。 ○本時の目標を斉読によって確認させる。	
読み合うときの観点を押さえて下書きを読み合い、よりよいものにするために意見を出し合おう。				
展 開	2 『『私』の説明文』作品例を読み、読み合うとき(本時は推敲)の観点を確かめる。 〔手順〕 1) 作品例1を読んで、推敲をする。 ・学年ごとの読書量の変化を示すなら表よりも、折れ線グラフの方がよい。 2) 作品例2を読んで、推敲をする。 ・説明は、グラフの要素の順に、段落を分けた方がよい。 3) 作品例3を読んで、推敲をする。 ・全体的なことを述べる段落があった方がよい。 ・順序を表す言葉や、指し示す言葉をつかった方がよい。	作品例1  作品例2  作品例3 学習プリント「読むこと」①「指示語」 ②「接続語」	◆作品例1～4を電子黒板に映し出し、全体で推敲をしながら読み合うときの観点を確かめさせる。 ○作品例ごとに改善点を2～3名に発表させて推敲の観点を確かめさせる。 ○特徴的な改善点を確認したら、次の作品例に進む。 ○誤字・脱字については、作品例ごとに1～2例ずつ挙げておき、気付いた生徒を評価して適切な表記を指摘することについて意欲・関心を高める。	◇発言をしていない生徒には、ワークシート②(作品例1の場合)や、学習の手引き「読むこと」⑤(作品例2の場合)、学習プリント「読むこと」①・②(作品例3の場合)、教科書の「完成作品例」(作品例4の場合)などの参考資料を参照するように指示し、推敲の助けとさせる。
<p>《板書例》推敲の観点 =読み合うときの観点</p> <p>①適切な形式の図表で表現している。 ②分かりやすい構成で書いている。 ③順序を表す言葉や指し示す言葉を使って書いている。 ④図表と文章を関連させて書いている。 ⑤適切な表記で書いている。</p>				

展 開	<p>4) 作品例4を読んで、推敲をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図表との関連のある内容を説明した方がよい。</li> </ul> <p>3 グループで作品を回し読みしながら、推敲をする。 〔手順〕</p> <p>1) 友達の作品を読んで、付箋に自分の名前と①から⑤までのどの観点の推敲であるか明記した上で、よい点は青の付箋に、改善点はピンクの付箋に書いて作品に貼り付ける。</p> <p>2) グループの作品をそれぞれ推敲する。</p> <p>4 友達から貼ってもらった付箋を振り返りシートに整理して、自分の作品について読みやすくて印象的な説明文になるように、推敲する。</p>	<p>作品例4</p> <p>振り返りシート ワークシート④</p>	<p>○司会者、記録者、報告者、タイムキーパーを決めさせる。</p> <p>○よい点と改善点は、1作品にそれぞれ1つ以上書くことを決まりとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《付箋の記述例》</p> <p>①・レーダーチャートで複数の観点から分析しているのが一目で分かってよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のときと中学校のときの時間の使い方を比較するのは、帯グラフの方が分かりやすい。</li> </ul> <p>②・全体的なことを述べる段落や1つ1つ段落の材料について詳しく述べる段落など、段落の役割を明らかにして書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの要素の順番で書いているので分かりやすい。</li> </ul> <p>③・まず、次に、最後に、第一に、第二に、など順序を表す言葉を使っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上の図のように、～を見ると、などと図を指し示す言葉を使っている。</li> <li>・だから、したがって、しかし、だが、そして、つまり、などの接続詞を適切に使っている。</li> </ul> <p>④・グラフから分かることのうち、中心的に言いたいことを詳しく書いている。</p> <p>⑤・絶対絶命→絶体絶命</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【書②】書いた文章を読み返し、文章と図表とが対応しているか、図表が文書の助けとなっているかなどを確かめ、読みやすくて印象的な文章にしている。【ワークシート④】【振り返りシート】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>自分の作品に貼られた付箋を観点ごとにまとめて自分の作品の改善点を明らかにして書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> <p>読んでいる作品に応じてよい点や改善点が明らかかな観点を提示して、推敲させ、付箋に書かせる。集まった付箋については同じことが書かれているものについて自分の作品と対照させ、「改善するところ」に書かせる。</p> </div>
--------	---	--	--	---

まとめ	5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</li> <li>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</li> <li>○次時は、学級で発表し、感想を交流することを確かめる。</li> </ul>	
-----	--	-------	---	--

6-5 5/5時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、段落の役割を考  
えて文章を構成することができる。
- ・ 書いた文章を読み返し、文章と図表とが対応しているか、図表が文章の助けとなっているか  
などを確かめ、読みやすくて印象的な文章にすることができる。
- ・ 指示語や接続語を適切に使って図表を説明することができる。
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書くことができる。

(2) 展 開 ※ 本時における評価は、授業後に回収したワークシート④、⑤等によって行う。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇ <u>形成的評価による個別指導</u> Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に学んだことを2～ 3名に発表させる。 ○本時の目標を斉読によっ て確認させる。	
	読み合うときの観点を押さえて完成した文章を読み合い、身に付けた力について考えよう。			
展 開	2 振り返りシートに基づい て、自分の作品を読みやす くて印象的な説明文になる ように改善して清書をす る。	振り返り シート ワークシ ート⑤		◇改善点が多く、手間取る 生徒には、改善点を具体 的に絞り込んで示し、書 き換えるように促す。
	3 完成した作品を学級で発 表し合う。  〔手順〕 1) 作品のよい点を出し 合って、グループで紹介 したい作品を発表者 として決める。  2) グループごとに紹 介者と発表者が前に出 て、作品のPRポイン トの紹介と、作品の発 表を行う。		○紹介したい理由を、作成 の具体的なポイントや推 敲の観点などを参考に述 べさせ、発表者を決定さ せる。  ◆教材提示装置を用いて作 品を投影して実際に見 せ、図表の効果について 実感させながら作品を読 ませる。	【書①】伝えたいことが 明確に伝わるように、材 料を収集・分類・整理し ながら、段落の役割を考 えて文章を構成してい る。【ワークシート④】【振 り返りシート】【ワークシ ート⑤】  図表と関連させて分かり やすい構成で文章を書い ている状況を「おおむね満 足できる」状況（B）と判 断する。  学習の手引き⑤やワーク シート③を用いて、図表 の要素を説明する段落と

3) 発表を聞いて、作品の叙述を引用して感想を述べ合う。

○文章に図表を組み合わせ  
て『私』の説明文』を  
読みやすくして印象的な  
ものにしようという学習  
課題に照らしてどうであ  
ったかを考えて感想を言  
わせる。

○生徒が気付いていない  
ことについては、生徒の  
作品のよい点を指し示し  
たり、該当の学習場面  
での活動を指摘したりし  
て教師が具体的に評価  
する。

全体をまとめて述べる段  
落を双括弧に並べて示  
し、分かりやすい構成  
で書くように促す。

【書②】書いた文章を  
読み返し、文章と図表  
とが対応しているか、  
図表が文章の助けとな  
っているかなどを確か  
め、読みやすく印象  
的な文章にしている。  
【ワークシート④】【  
振り返りシート】【ワ  
ークシート⑤】

文章と図表が対応し、  
図表が文章の助けとな  
るようにして清書して  
いる状況を「おおむね  
満足できる」状況（B）  
と判断する。

学習プリント等を参照  
させ、具体的な改善策  
を示して書くように促  
す。

【言①】図表を説明  
するときに、指示語や  
接続語を工夫して使  
っている。  
【言②】学年別漢字  
配当表に示されてい  
る漢字を適切に使っ  
て文章を書いている。  
【ワークシート⑤】

図表との関連を明ら  
かにする語句を用い、  
おおむね適切な表記  
で書いている状況を  
「おおむね満足でき  
る」状況（B）と判  
断する。

適切な用語や表記を  
示して書かせる。



ま と め	<p>4 単元の学習を振り返り、身に付けた力とその力を生かせる場面について考える。</p> <p>[手順]</p> <p>1) 学習で使用したワークシートや学習の手引き、学習計画表などを照らし合わせて学習したことを振り返る。</p> <p>2) 印象に残った学習場面での活動や、できるようになったと実感できたことから身に付けた力を考える。</p> <p>3) 身に付けた力を生かせる場面についてアイデアを出し合う。</p> <p>4) 身に付けた力とその力を生かせる場면을学習計画表に書き込む。</p>	学習計画表	<p>○言語活動への個人、グループ、学級での取り組みについて具体的に振り返らせるとともに、身に付けた力をできるだけ具体的に書くように促す。</p> <p>○生徒が気付いていないことについては、生徒の作品のよい点を指し示したり、該当の学習場面での活動を指摘したりして教師が具体的に評価する。</p> <p>○2～3名の生徒に発表させて、アイデアを共有させる。</p>	
	<p>5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。</p>	学習計画表	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</p> <p>○単元の学習について教師の評価を伝え、生徒が新しい課題や今後の学習の展望がもてるようにする。</p>	